

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年8月10日
【四半期会計期間】	第56期第3四半期（自平成29年4月1日至平成29年6月30日）
【会社名】	長谷川香料株式会社
【英訳名】	T.HASEGAWA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 近藤 隆彦
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町四丁目4番14号
【電話番号】	03(3241)1151(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役兼副社長執行役員 海野 隆雄
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋本町四丁目4番14号
【電話番号】	03(3241)1151(代表)
【事務連絡者氏名】	総務部長 堤 浩治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第3四半期 連結累計期間	第56期 第3四半期 連結累計期間	第55期
会計期間	自平成27年 10月1日 至平成28年 6月30日	自平成28年 10月1日 至平成29年 6月30日	自平成27年 10月1日 至平成28年 9月30日
売上高 (百万円)	35,486	35,376	47,591
経常利益 (百万円)	3,775	4,737	5,164
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	2,604	3,323	3,637
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,177	7,430	1,739
純資産額 (百万円)	79,365	86,008	79,939
総資産額 (百万円)	100,245	107,799	100,853
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	61.39	78.33	85.74
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	61.35	78.23	85.67
自己資本比率 (%)	79.1	79.7	79.2

回次	第55期 第3四半期 連結会計期間	第56期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成28年 4月1日 至平成28年 6月30日	自平成29年 4月1日 至平成29年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	25.01	22.90

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるT.HASEGAWA U.S.A., INC.が、米国において各種食品香料の製造及び販売を行っているFLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLCの全株式を取得し、連結の範囲に含めております。当該子会社の報告セグメントは「米国」であり、詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当社連結子会社であるT.HASEGAWA U.S.A., INC.は、平成29年6月30日にFLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLC（米国カリフォルニア州）の全株式を取得するための契約を締結し、同日付で取得いたしました。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（企業結合等関係）」に記載のとおりであります。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日本銀行の金融政策や政府の経済対策を背景に雇用・所得環境や企業収益等の改善が続き、景気は緩やかな回復基調にあったものの、中国や新興国経済の減速、米国の政策動向、英国のEU離脱問題や為替相場の変動等の影響が懸念され、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

一方、香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は前年同期並み（前年同期比0.3%減）の35,376百万円となりました。なお、当社単体の売上高は前年同期比0.8%の減収、海外連結子会社の売上高は、長谷川香料（上海）有限公司が前年同期比3.3%の減収（現地通貨ベースでは同5.2%の増収）、T.HASEGAWA U.S.A., INC.が前年同期比10.1%の増収（現地通貨ベースでは同13.7%の増収）、マレーシアのPeresscol Sdn. Bhd.が前年同期比7.8%の減収（現地通貨ベースでは前年同期並み）となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、T.HASEGAWA U.S.A., INC.の売上が増加したものの、当社の茶系飲料向けの売上が減少したこと等を主因に前年同期比1.2%減少し、30,368百万円となりました。

フレグランス部門は、当社のトイレタリー製品向けの売上が増加したこと等を主因に前年同期比5.4%増加し、5,007百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は売上原価率の改善による売上総利益の増加を主因に前年同期に比べ529百万円（13.8%）増加し、4,376百万円となりました。経常利益は営業利益の増加並びに為替差益の計上（前年同期は為替差損を計上）を主因に前年同期に比べ961百万円（25.5%）増加し、4,737百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ718百万円（27.6%）増加し、3,323百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメントごとの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しております。

#### 日本

売上高は27,234百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益は3,471百万円（前年同期比19.7%増）となりました。

#### アジア

売上高は6,001百万円（前年同期比3.8%減）、セグメント利益は1,009百万円（前年同期比23.4%増）となりました。

#### 米国

売上高は3,184百万円（前年同期比16.5%増）、セグメント利益は234百万円（前年同期比285.6%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、3,168百万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	160,000,000
計	160,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成29年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成29年8月10日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	42,708,154	42,708,154	東京証券取引所 (市場第一部)	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	42,708,154	42,708,154	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(百万円)	資本金残高(百万円)	資本準備金増減額(百万円)	資本準備金残高(百万円)
平成29年4月1日～平成29年6月30日		42,708,154		5,364		6,554

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成29年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成29年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 281,400	-	単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 42,396,700	423,967	同上
単元未満株式	普通株式 30,054	-	-
発行済株式総数	42,708,154	-	-
総株主の議決権	-	423,967	-

(注)「完全議決権株式(自己株式等)」の欄はすべて当社保有の自己株式であります。

【自己株式等】

平成29年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
長谷川香料株式会社	東京都中央区 日本橋本町4-4-14	281,400	-	281,400	0.65
計	-	281,400	-	281,400	0.65

(注)当第3四半期会計期間末日現在の自己株式数は281,600株となっております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年10月1日から平成29年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,336	8,627
受取手形及び売掛金	15,312	15,815
有価証券	10,999	7,000
商品及び製品	6,190	6,811
仕掛品	103	147
原材料及び貯蔵品	5,152	6,338
その他	1,242	1,830
貸倒引当金	4	4
流動資産合計	50,333	46,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,180	17,900
その他(純額)	13,130	13,451
有形固定資産合計	30,311	31,352
無形固定資産		
のれん	1,066	7,013
その他	1,079	875
無形固定資産合計	2,145	7,888
投資その他の資産		
投資有価証券	17,270	21,161
退職給付に係る資産	2	5
その他	846	880
貸倒引当金	56	56
投資その他の資産合計	18,063	21,992
固定資産合計	50,520	61,233
資産合計	100,853	107,799
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,661	5,807
短期借入金	-	1
1年内返済予定の長期借入金	5	8
未払法人税等	737	594
賞与引当金	1,116	274
役員賞与引当金	58	-
その他	2,876	3,418
流動負債合計	10,455	10,105
固定負債		
長期借入金	116	4
繰延税金負債	2,608	3,938
退職給付に係る負債	6,590	6,593
資産除去債務	70	70
長期末払金	1,027	1,012
その他	46	67
固定負債合計	10,458	11,686
負債合計	20,914	21,791



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,292	7,292
利益剰余金	59,538	61,462
自己株式	322	322
株主資本合計	71,873	73,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,695	12,416
為替換算調整勘定	1,367	8
退職給付に係る調整累計額	299	272
その他の包括利益累計額合計	8,028	12,135
新株予約権	37	77
純資産合計	79,939	86,008
負債純資産合計	100,853	107,799

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	35,486	35,376
売上原価	22,200	21,507
売上総利益	13,285	13,869
販売費及び一般管理費	9,439	9,493
営業利益	3,846	4,376
営業外収益		
受取利息	23	24
受取配当金	143	157
為替差益	-	159
その他	122	62
営業外収益合計	289	403
営業外費用		
支払利息	7	3
設備賃貸費用	44	34
為替差損	302	-
その他	5	4
営業外費用合計	360	42
経常利益	3,775	4,737
特別利益		
投資有価証券売却益	142	55
固定資産売却益	-	75
特別利益合計	142	130
特別損失		
固定資産廃棄損	35	76
特別損失合計	35	76
税金等調整前四半期純利益	3,882	4,791
法人税等	1,278	1,468
四半期純利益	2,604	3,323
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,604	3,323

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	2,604	3,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,342	2,720
為替換算調整勘定	2,793	1,359
退職給付に係る調整額	23	26
その他の包括利益合計	1,427	4,106
四半期包括利益	1,177	7,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,177	7,430
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるT.HASEGAWA U.S.A., INC.が、FLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLC(所在地:米国 カリフォルニア州)の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。なお、当第3四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)
減価償却費	2,175百万円	2,064百万円
のれんの償却額	109	101

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年11月6日 開催の取締役会	普通株式	636	15	平成27年9月30日	平成27年12月18日	利益剰余金
平成28年5月11日 開催の取締役会	普通株式	636	15	平成28年3月31日	平成28年6月1日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年11月11日 開催の取締役会	普通株式	721	17	平成28年9月30日	平成28年12月6日	利益剰余金
平成29年5月12日 開催の取締役会	普通株式	678	16	平成29年3月31日	平成29年6月1日	利益剰余金

(セグメント情報)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,048	5,909	2,528	35,486	-	35,486
セグメント間の内部売上高 又は振替高	398	331	204	934	934	-
計	27,446	6,241	2,732	36,420	934	35,486
セグメント利益	2,899	818	60	3,778	3	3,775

(注)1. セグメント利益の調整額 3百万円は、セグメント間の債権債務消去に係る為替差損益 2百万円、その他 1百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,852	5,742	2,781	35,376	-	35,376
セグメント間の内部売上高 又は振替高	381	259	402	1,043	1,043	-
計	27,234	6,001	3,184	36,420	1,043	35,376
セグメント利益	3,471	1,009	234	4,715	21	4,737

(注)1. セグメント利益の調整額21百万円は、セグメント間の債権債務消去に係る為替差損益0百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額20百万円、その他 0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「米国」セグメントにおいてFLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLCの全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において5,977百万円でありませぬ。なお、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 FLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLC

事業の内容 各種食品香料の製造及び販売

(2) 企業結合を行った主な理由

米国において今後も成長が見込まれる健康分野を中心とした各種食品香料の製造及び販売に従事し、急成長を続けているFLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLCを買収することで、当社の連結子会社であるT.HASEGAWA U.S.A., INC.との販売面や製造面でのシナジー効果等により、米国市場での更なる業績拡大を実現していくためであります。

(3) 企業結合日

平成29年6月30日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

名称の変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

取得直前に所有していた議決権比率 -

企業結合日に取得した議決権比率 100%

取得後の議決権比率 100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の子会社であるT.HASEGAWA U.S.A., INC.が、現金を対価として全株式を取得したためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成29年6月30日付で全株式を取得しているため、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書には、被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	51.6百万米ドル
取得原価		51.6百万米ドル

(注)上記の金額は取得時点の概算額であり、今後の価格調整等により実際の金額は上記と異なる可能性があります。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

53.3百万米ドル

なお、取得原価の配分が完了していないため、のれんは暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

主として、今後の事業展開により期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

当第3四半期連結会計期間末において、企業結合日における識別可能資産および負債の特定を精査中であり、取得原価の配分は完了しておりません。よって、のれんは暫定的な会計処理を行っており、償却方法および償却期間についても精査中であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	61円39銭	78円33銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	2,604	3,323
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	2,604	3,323
普通株式の期中平均株式数(千株)	42,427	42,426
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	61円35銭	78円23銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	25	58
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成29年5月12日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....678百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....16円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成29年6月1日

(注) 平成29年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年8月9日

長谷川香料株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 茂木 浩之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 京嶋 清兵衛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている長谷川香料株式会社の平成28年10月1日から平成29年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年10月1日から平成29年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、長谷川香料株式会社及び連結子会社の平成29年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。